

- **グローバル・ラムダ・ネットワークキング・シンポジウム等の開催のお知らせ**
—世界の光ネットワーク関係者が我が国に集結！—
 - **平成18年9月1日**
-

独立行政法人情報通信研究機構(理事長:長尾 真。NICT)は、9月7日(木)から9月13日(水)にかけて、3つの光ネットワークに関する国際会議を開催いたします。(詳細は別紙参照)

- (1) **ONT3(Optical Network Testbed 3)ワークショップ** (9月7日、8日)
- (2) **GLIF(Global Lambda Integrated Facility)ワークショップ** (9月11日、12日)
- (3) **Global Lambda Networkingシンポジウム** (9月13日)

※(1)の会合については、米国エネルギー省(DOE)及び全米科学財団(NSF)と共催。

※(2)(3)の会合については、WIDEと共催。

こうした光ネットワーク関係の国際会合が、日本で開催されるのは初めてであり、この期間、世界各国の光ネットワークの研究者が秋葉原に集結し、光ネットワークに関する将来展望、相互接続等の国際連携等について積極的な意見交換が繰り広げられ、本分野における我が国の研究開発、国際展開に大いに拍車がかかることが期待されております。

9月13日(水)に開催されるGlobal Lambda Networking シンポジウムに関しては、広くみなさま方にご参加いただける無料のシンポジウムですので、この機会に是非ご参加ください。(登録は下記ホームページからお願いいたします。)

ホームページは、<http://www.e-side.co.jp/glifsymposium2006/>

【光ネットワーク関連の国際会議の開催の意義】

光ネットワークの研究開発は、将来のネットワークアーキテクチャを支えるものであり、現在、世界的には、光ネットワークの研究に資する光テストベッドが充実しつつある。米国では、National Lambda Rail、Internet2、またオランダのSURFnet、あるいはカナダのCA*net4等、先進的なテストベッドの取り組みを実施している国も多く、今後は、こうしたそれぞれの国で取り組んでいるテストベッドネットワークを国際的に相互接続し、さらに大規模なネットワークを構築し、世界規模の実証実験を実施すること等が検討されている。

今回開催する3つの国際会議では、世界を代表する光テストベッドを実際に構築・運用している研究者が集まり、活発な意見交換が行われるものであり、こうした会合が日本で開催されるのは初めてであり、これだけのメンバーが一同に介する機会は他の会合でも珍しく、是非、この機会を利用して、研究者の方々、光ネットワークに携わる方々に広くご参加いただき、今後の研究活動等に活用していただきたいと思います。

<問合せ先>

独立行政法人情報通信研究機構
総合企画部広報室
栗原則幸、大野由樹子
TEL:042-327-6923、FAX:042-327-7587

<シンポジウムに関する問合せ先>

独立行政法人情報通信研究機構 連携研究部門
テストベッド推進グループ
豊田 麻子、山本 一彦
Tel:042-327-6005、Fax:042-327-5560

Optical Network Testbeds Workshop 3(ONT3) 開催概要

(<http://www.nren.nasa.gov/workshop9/>)

ONT3は、米国大統領府科学技術委員会LSN(Federal Large Scale Networking Coordination Group)が後援している会合であり、従来、米国のネットワーク関係の政府機関、大学関係者が集まっていた会合であるが、国際連携の重要性に鑑み、今年はGLIF会合と同時開催で、情報通信研究機構と米国科学財団(NSF)、米国エネルギー省(DOE)の主催で日本において開催。

会 期 : 2006年9月7日(木)ー8日(金)
 場 所 : 秋葉原コンベンションホール(JR秋葉原駅前 秋葉原ダイビル5F)
 主 催 : 独立行政法人 情報通信研究機構、米国エネルギー省(DOE: Department of Energy)、全米科学財団(NSF: National Science Foundation)
 後 援 : 総務省、米国連邦大規模ネットワークグループ(LSN: US Federal Large Scale Networking Coordination Group)、LSN共同エンジニアリング・チーム(JET: Joint Engineering Team)
 参 加 者: 国内外の光ネットワーク関係者(招待者のみ、世界各国より125名程度)

6th Annual Global LambdaGrid Workshop(6th GLIF Meeting) 開催概要

(<http://www.glif.is/meetings/2006/>)

GLIFは、ラムダネットワーク(光ネットワーク)の相互接続等を推進するためにできた国際的な組織であり、各国の研究ネットワーク、研究所、組織、大学等がその活動に参加し、年に1回、世界各国でワークショップを開催。(日本は、情報通信研究機構とWIDEプロジェクトがメンバー)日本での開催は初めて。

会 期 : 2006年9月11日(月)ー12日(火)2日間
 場 所 : 秋葉原コンベンションホール(JR秋葉原駅前 秋葉原ダイビル2F、5F)
 主 催 : 独立行政法人 情報通信研究機構、WIDE プロジェクト
 後 援 : 総務省、国立情報学研究所、電子情報通信学会、情報処理学会
 協 賛 : エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、KDDI株式会社、日本電気株式会社、株式会社日立製作所
 使用言語: 英語
 参加費: 25,000円
 参加者: 主にGLIF加盟組織の代表者、世界各国より150名程度(一般参加も可)

グローバル・ラムダ・ネットワーキング・シンポジウム開催概要
－Global Lambda Networking Symposium 「光が創造する明るい未来」－

(<http://www.e-side.co.jp/glifsymposium2006/>)

本シンポジウムは、上記ONT3(Optical Network Testbed)ワークショップ及びGLIF(Global Lambda Integrated Facility)ワークショップの開催に合わせて、海外から世界をリードする光ネットワーク関係者が集まる機会を捉えて、日本で開催される光ネットワーク関係のシンポジウム。国内外の光ネットワークの現状・問題点、将来構想等について、広く、研究者・技術者等光ネットワークに携わる関係者に紹介する。

会 期 : 2006年9月13日(水) 10:00-18:00
場 所 : 秋葉原コンベンションホール(JR秋葉原駅前 秋葉原ダイビル2階)
主 催 : 独立行政法人 情報通信研究機構、WIDE プロジェクト
後 援 : 総務省、国立情報学研究所、電子情報通信学会、情報処理学会
協 賛 : エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、KDDI株式会社、日本電気株式会社、株式会社日立製作所

使用言語: 日本語(一部 英→日 同時通訳あり)

参加費: 無料

参加者: 200名予定

その他: 併設展示会(出展対象製品 光関連技術に関連するハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等)

参加登録: <http://www.e-side.co.jp/glifsymposium2006/> よりお願いします。